

# HULFT ユースケース 10選

IT活用を一步進めるヒント



SAISON  
TECHNOLOGY

株式会社セゾンテクノロジー

導入製品・サービス

HULFT<sup>2</sup> DataMagic<sup>2</sup>  
HULFT-HUB<sup>2</sup>

# プロトコル混在の管理負荷・潜在リスクから脱却 ファイル転送の標準化によるセキュリティ向上、運用工数削減を実現

お客様の問題

- ① FTPその他のファイル連携ツールが混在している
- ② 運用が標準化できない
- ③ セキュリティ強化対応にばらつきが発生している

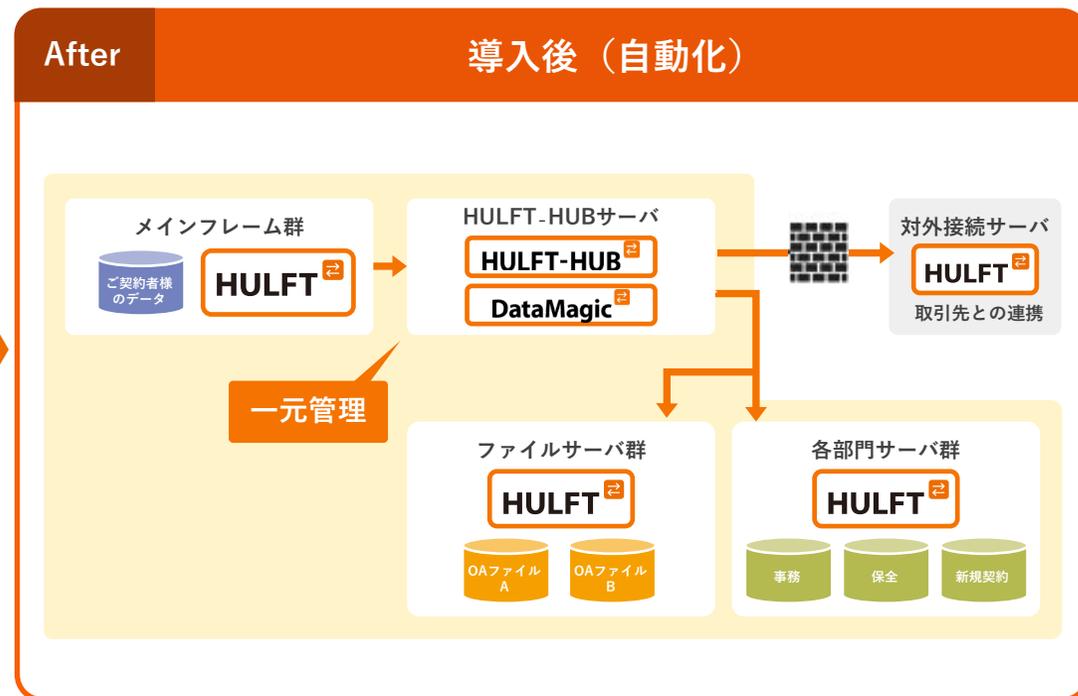
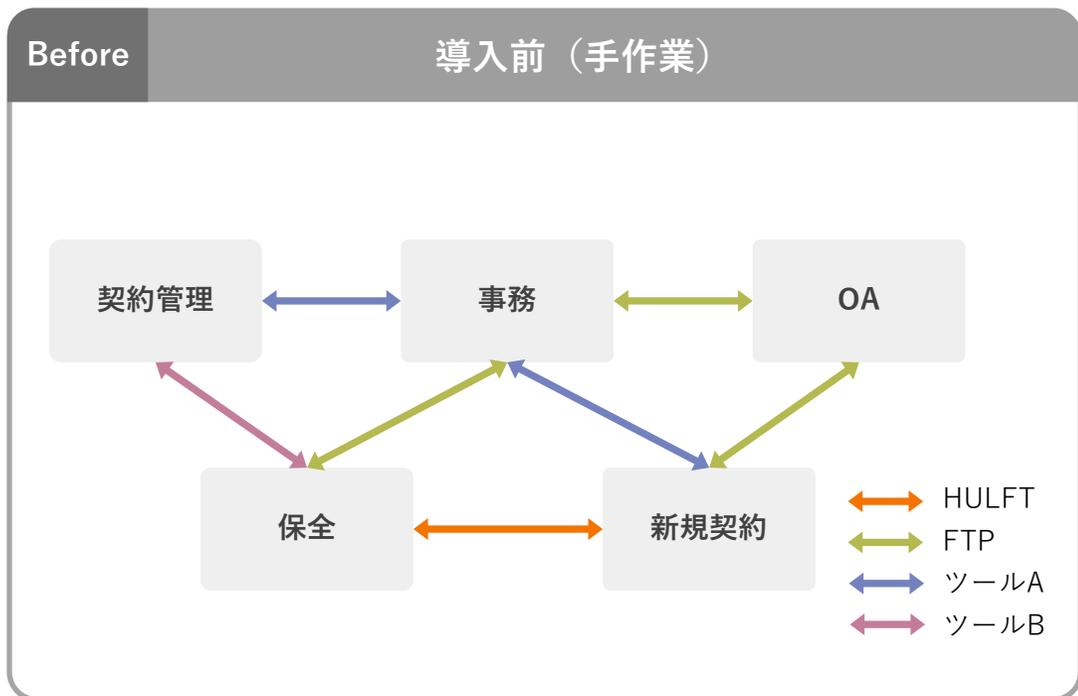
導入効果

- ① HULFT-HUBでエラー発生からの対応速度が向上した
- ② エンドtoエンドでのファイル暗号化を実現した



POINT

- ① マルチプラットフォーム対応のHULFTで標準化
- ② HULFT-HUBで一括運用管理。エラー発生箇所、原因が一目で確認
- ③ DataMagicで外字変換を一元集約
- ④ AES暗号通信に対応



導入製品・サービス

HULFT<sup>®</sup> DataSpider<sup>®</sup>  
HULFT-HUB<sup>®</sup>

# 複数のプロトコルを一元管理可能なデータHUBを整備 標準化されたI/F管理・運用で開発スピード・運用品質の向上を達成

お客様の問題

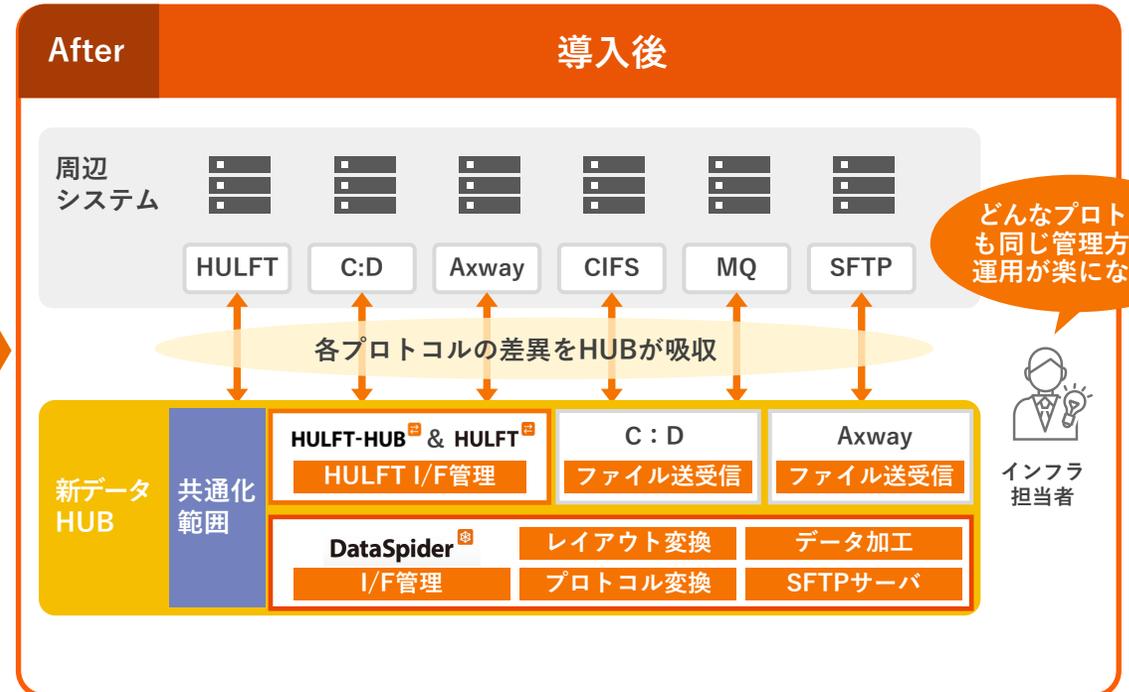
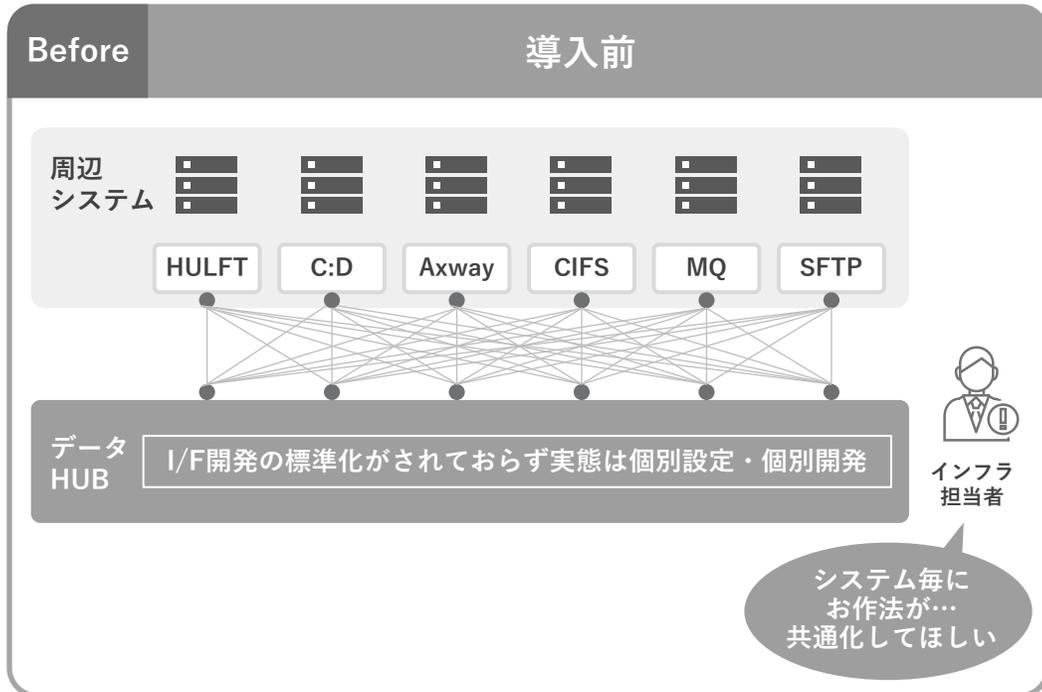
- ① 企業統合などで複数のデータ連携プロトコルを扱う必要がある
- ② I/F開発時アプリケーション担当者間で都度調整が頻発に発生

導入効果

- ① ブラックボックス化を防ぎ、透明性の高い開発・運用の実現
- ② 「作る」から「選ぶ」都度、調整・開発から脱却  
→I/F1本あたり60%の工数削減を実現



- ① 複数のプロトコルを一元的に管理できる新HUB基盤
- ② I/F毎にパターン化しテンプレートによる標準化



導入製品・サービス

HULFT<sup>®</sup>  
DataMagic<sup>®</sup>

# 勤怠管理や保安全管理など分散化したデータを自動統合 報告のための手作業データ加工を撤廃し、分析や改善業務へリソースシフト

お客様の問題

- ① 親会社の基幹システムから取得したデータの加工が、複雑かつ大量で処理しきれない
- ② 残業時間の管理が大きな負担になっている

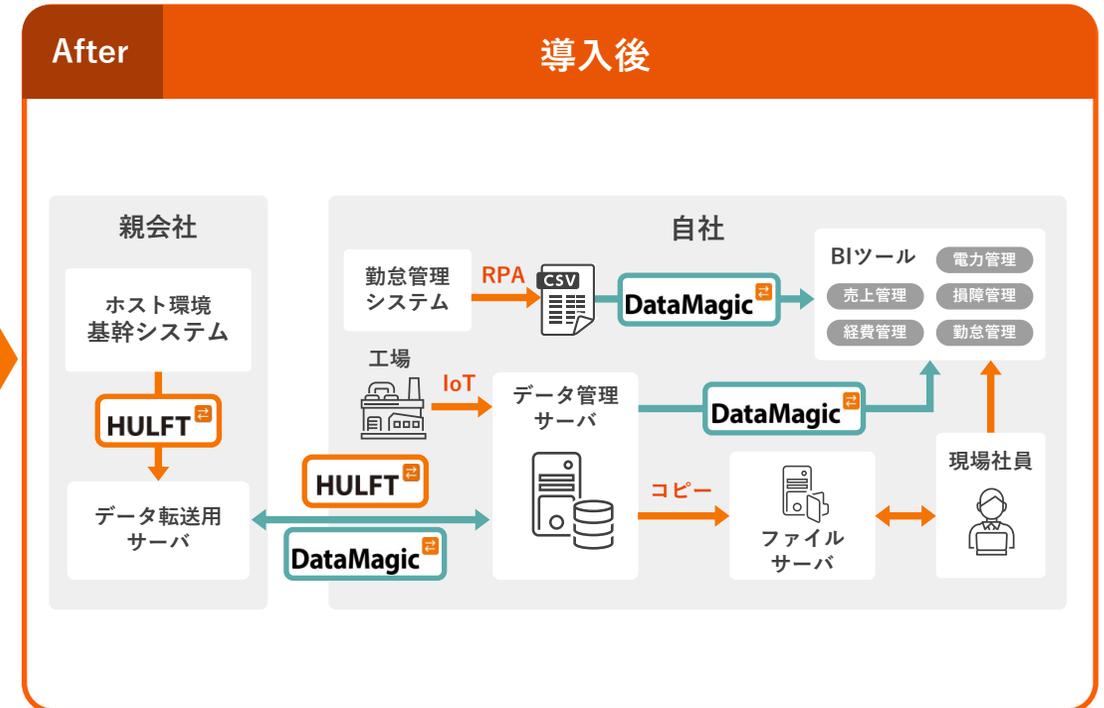
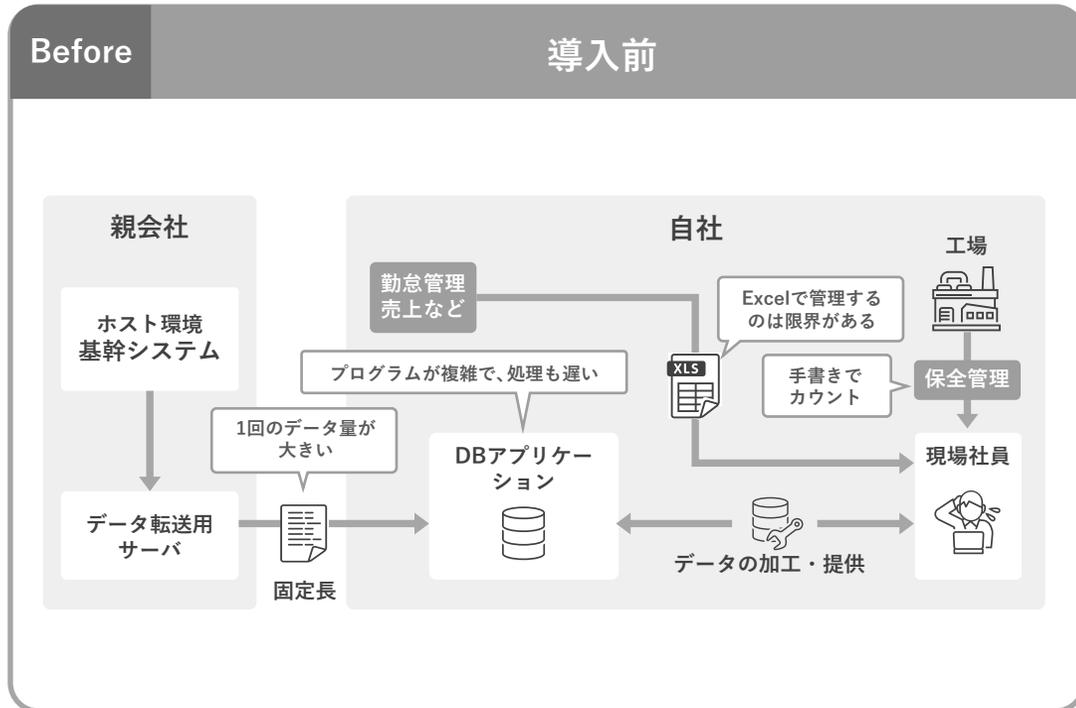
導入効果

- ① 勤怠管理を自動化、Excel作業を8割以上削減
- ② データ収集・加工の自動化を実現し、担当者の工数を単純作業から、分析や検討などのナレッジワークに割り振ることが可能に



POINT

- ① 24時間サポートに対応
- ② データ加工が簡単で精度が高く、処理が早い



導入製品・サービス

HULFT

DataSpider

# SAPマイ그레이ションを契機に脱SAPアドオンを実現 標準モジュールとI/Fの標準化をセットに運用保守工数を大幅削減

お客様の問題

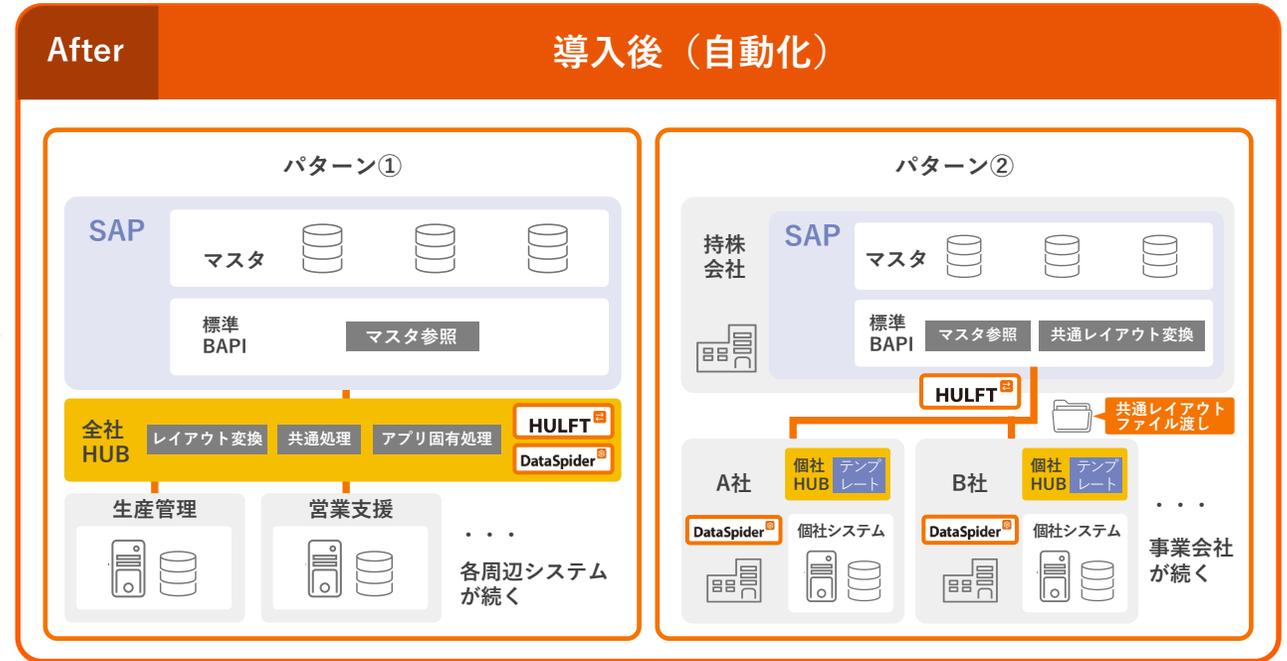
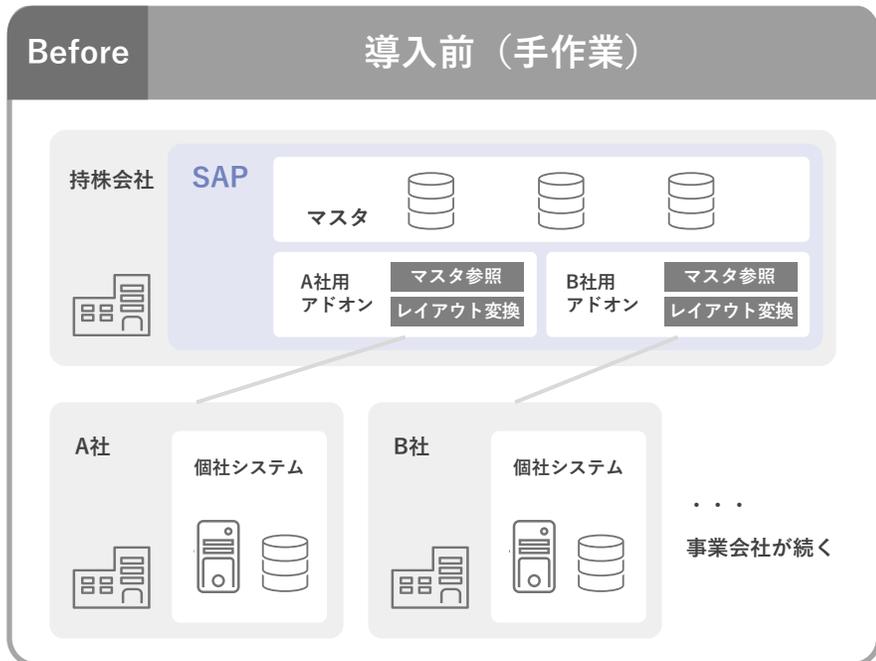
- ① SAPアドオン開発によるコスト・工数が肥大化
- ② DXを見据えたデータガバナンス・活用をしたい
- ③ グローバル経営を支える基盤インフラが必要

導入効果

- ① SAP標準モジュールによる費用削減
- ② データHUB構築と標準化策定
- ③ アプリケーション依存からの脱却(技術継承)
- ④ 連携容易性の確保(クラウド・SaaS活用)



- ① 標準開発による経営のスピードアップ
- ② 海外・グループ会社含めた全体最適
- ③ 開発生産性と維持メンテ性の向上
- ④ インターフェースの普遍化・共通化



# API作成をせずにクラウドストレージへの接続を実現 HULFTでの運用を変えずにデータの集約先をAmazon S3に変更

お客様の問題

- ① 海外拠点とHULFTで連携していたが、日本側のデータ受先をAmazon S3に変更したい
- ② 現状のHULFTでの運用は変えたくない
- ③ クラウドストレージへのAPI作成スキルがない

期待される効果

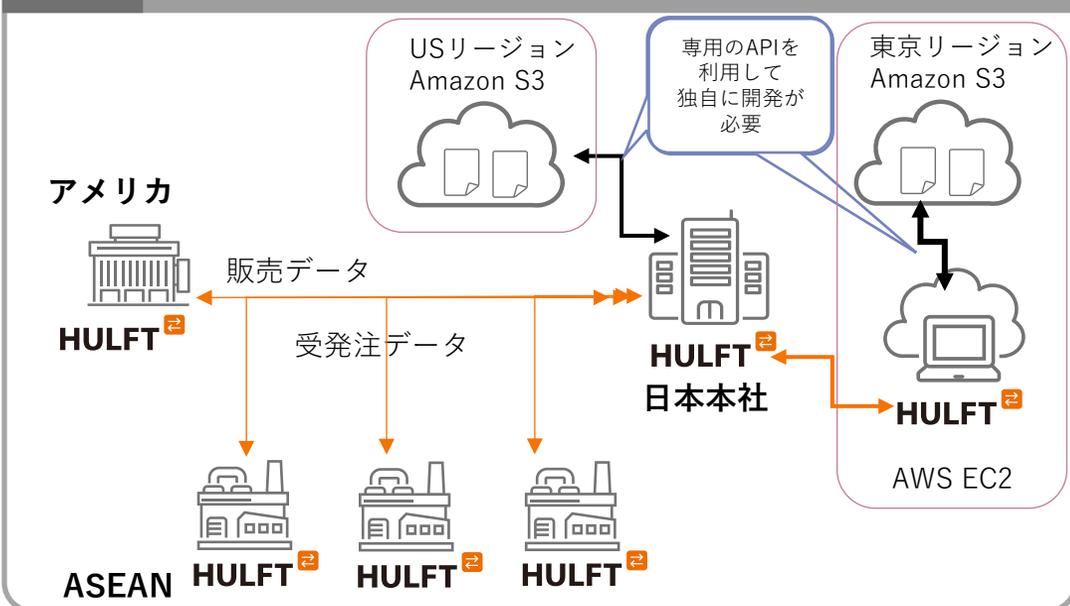
- ① HULFT Cloud Storage Optionを利用してAmazon S3にデータを集約
- ② HULFTの運用に変更の必要はない
- ③ オプションの導入と必要情報の設定のみで実現



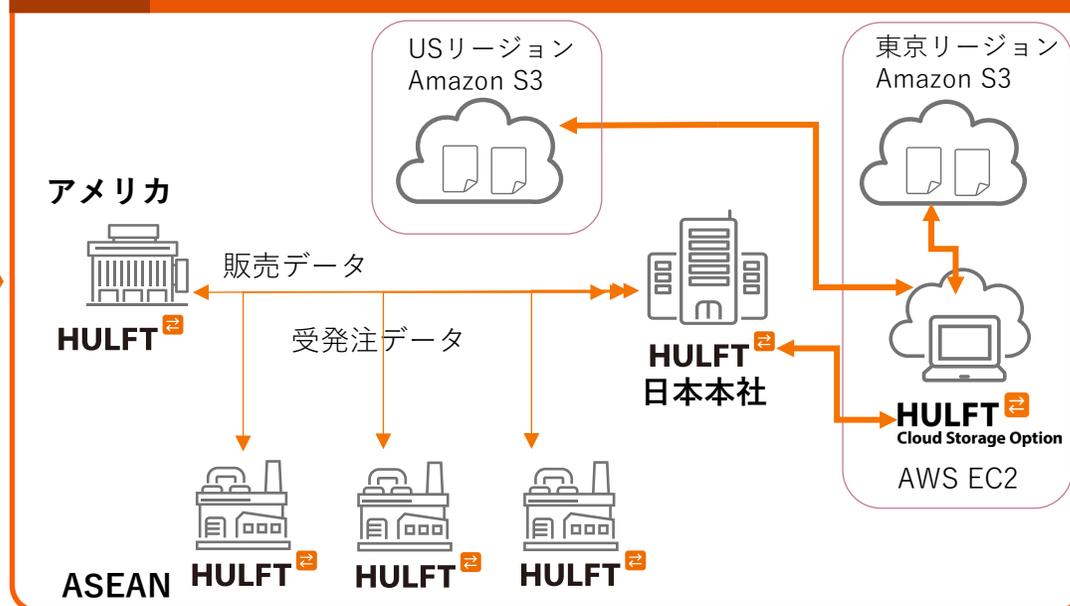
POINT

- ① APIでのスクラッチ開発に比べ構築費用の大幅削減
- ② 転送履歴の出力やエラー対処など、HULFTの機能をそのまま利用できる
- ③ 海外の拠点先とのデータ連携が容易

Before HULFTクラウドストレージオプションを利用しない場合



After HULFTクラウドストレージオプションを利用した場合



# 属人化したデータの受渡しから外字変換までを自動化 勤怠システムから給与・会計システムまでの業務間の自動化を実現

お客様の問題

- ① 基幹システム(AS400)とのデータ連携を手作業で実施
- ② 人名ために登録した外字はそのまま利用したい
- ③ Excelのマクロによる属人化を避けたい

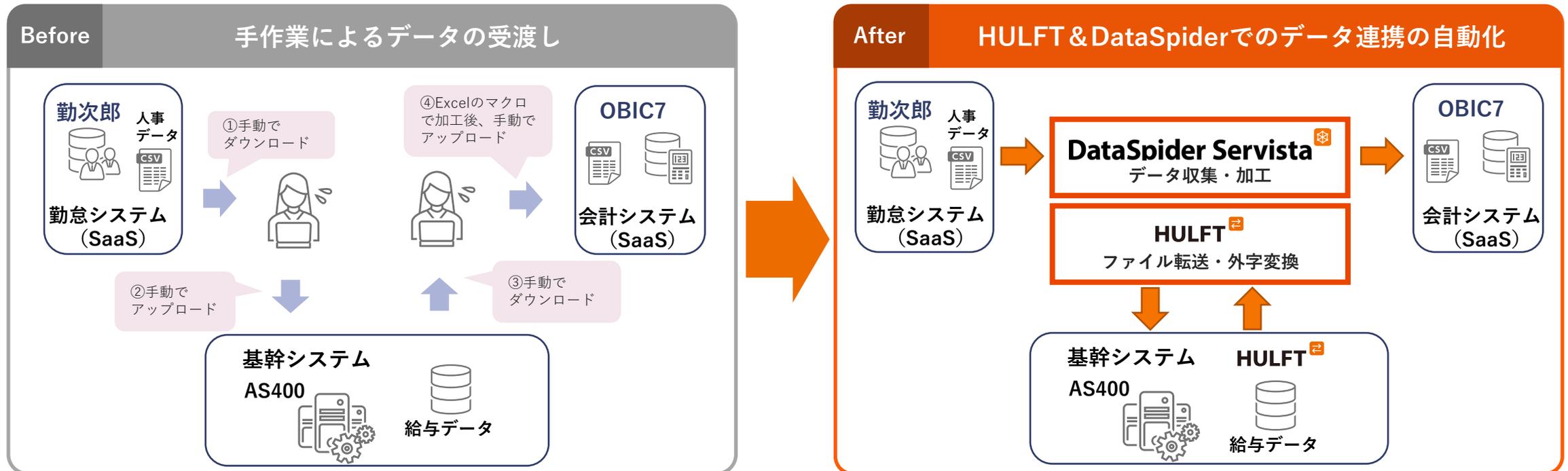
期待される効果

- ① 一連の定型的な手作業を自動化し、業務効率の向上
- ② 外字変換などの特別な処理も自動化し、今までの運用を変えなくて良い
- ③ 属人化の排除とミスの削減



POINT

- ① HULFTはオフコンなどのレガシーを含むマルチプラットフォームに対応
- ② コード変換だけでなく、外字変換にも対応
- ③ DataSpiderで簡単に業務間の連携を行い、仕様書も自動生成され業務の見えるかも実現



# メールEDIにおけるスクラッチ開発を刷新 安定した受注業務により受注漏れ防止とリードタイム削減に寄与

お客様の問題

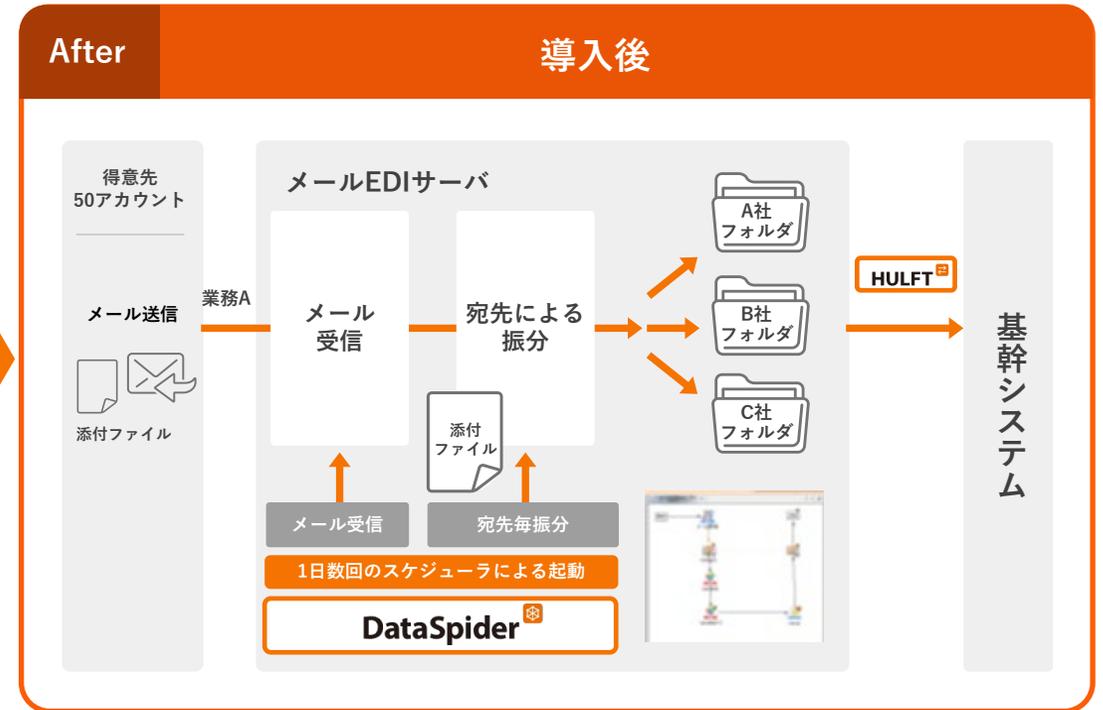
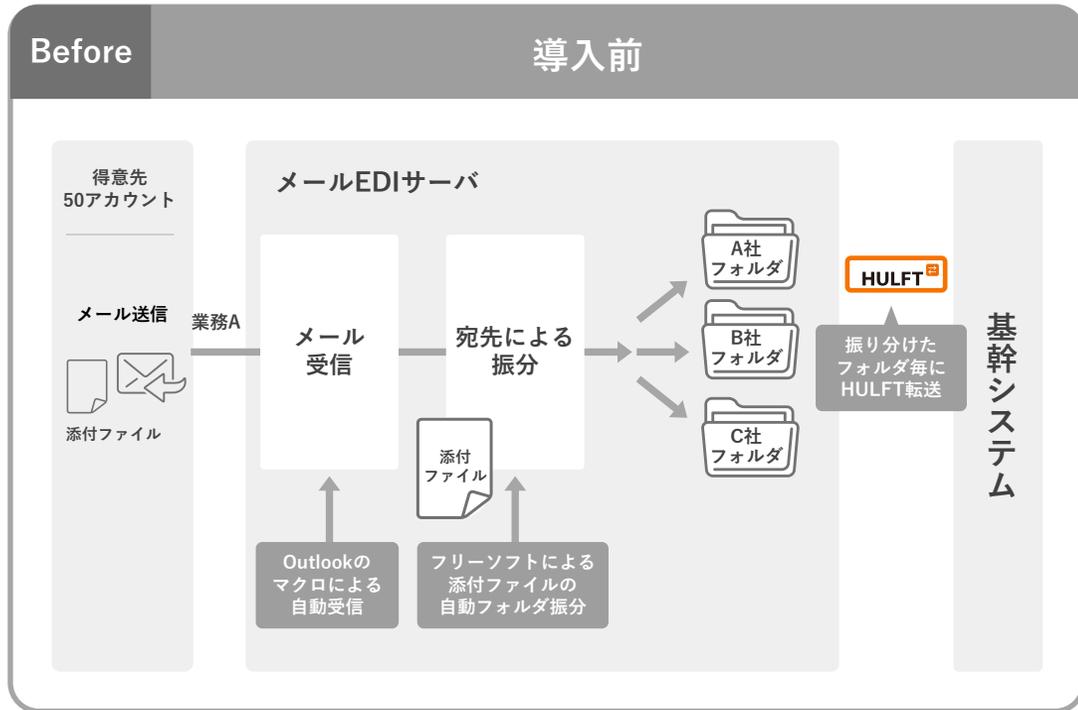
- ① 現状の動作が確認できるドキュメントの整備をしたい
- ② 新規取引先の追加にともなうメンテナンスに対する時間と費用の削減を行いたい

導入効果

- ① 連携により開発工数の削減を実現
- ② 自動処理による属人化された作業の排除



- ① アイコンを並べて作成するため、開発やメンテナンスが容易
- ② スクリプトの仕様書を自動生成するため、ドキュメントが揃い、メンテナンス工数も不要
- ③ HULFT他、豊富なアダプタをご用意



導入製品・サービス

HULFT<sup>®</sup>  
HULFT-HUB<sup>®</sup>

# 不安定な通信方式(FTP)が引き起こす機会損失を最小化 世界32カ国、約1000店舗へ一斉マスタ配信。安定した店舗運営を支える

お客様の問題

- ① ファイル交換の仕組みが統一されていない
- ② 回線メンテナンスが頻繁に行われるため、転送スケジュールの調整など運用負荷が高い

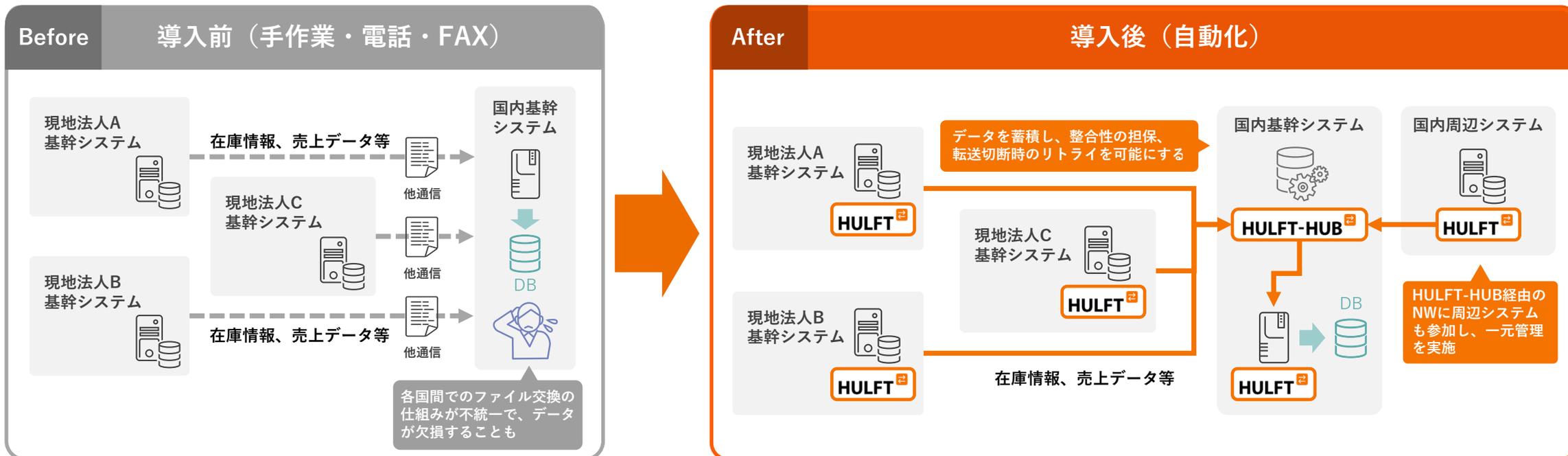
導入効果

- ① 日本側で国外も含めネットワークの一元管理が可能となった
- ② 運用負荷の軽減が図れた



POINT

- ① 国外の回線メンテナンスによる転送スケジュールの変動を、HULFT-HUBが吸収可能



導入製品・サービス

HULFT-WebConnect

HULFT Cloud Storage Option

# ISDNサービス(2024年終了)からスピーディーな切替が可能なサービス 取引先ごとに異なる運用形態に対応しコスト削減とセキュリティの向上を実現

お客様の問題

- ① 大口取引先向けはISDN等を活用しており、またHULFT伝送が増加
- ② 広域イーサネットなどの専用線コストが増加
- ③ 手動でのAmazon S3データ交換は非効率で事故発生の温床

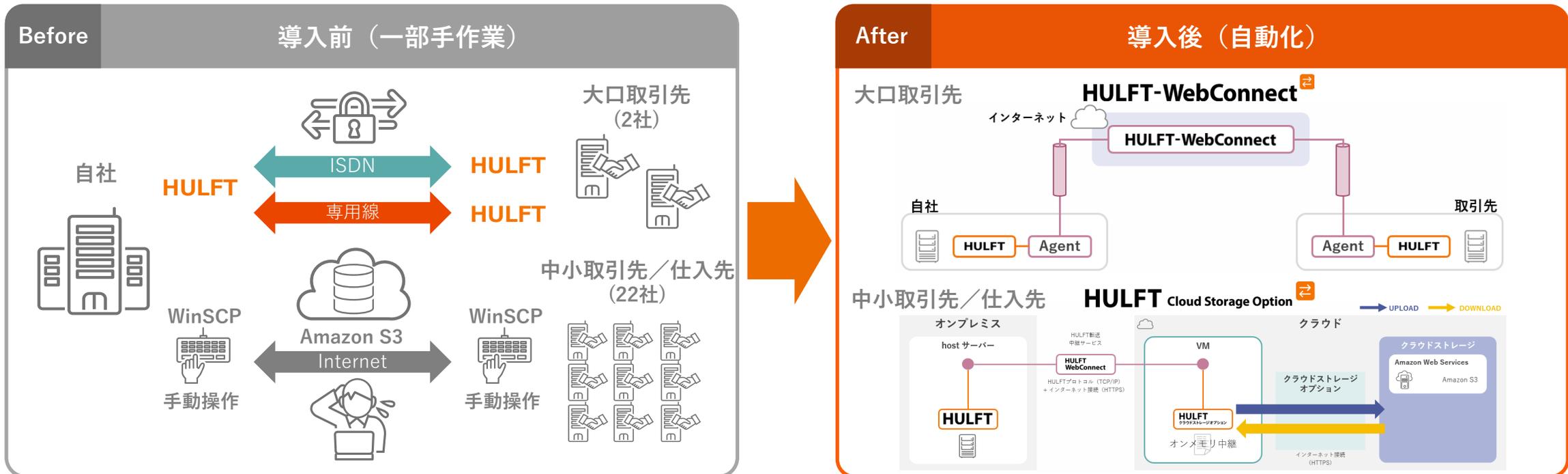
期待される効果

- ① 大口取引先とはWebConnectを活用し、現行の運用を変えることなくISDNから移行
- ② インターネット回線の利用で大幅にコスト削減
- ③ S3ベースのデータ交換を自動化



POINT

- ① 運用形態を変えずに、すぐ・簡単に換えられる
- ② 安全確実なファイルの連携運用を維持
- ③ 実績あるHULFT運用のままクラウド転送



導入製品・サービス

HULFT  
HULFT-HUB

# 異なるネットワーク間で一気に通貫のデータ連携 データ移動を手動からHULFT製品を活用したセキュアな通信で代替

お客様の問題

- ① セキュリティの関係で、ネットワークがマイナンバーとLGWAN系と分離されている
- ② データの移動は手動で行われ、毎回管理者の承認が必要

導入効果

- ① 異なるネットワーク間のデータ移動を、セキュリティを担保しつつ行える
- ② HULFTにより、ネットワークのセキュリティが担保されデータ移動の承認が不要になる
- ③ データ移動も人を介することがなくなる

POINT

- ① マイナンバー系・LGWAN系間にセキュリティゾーンを構築(DMZ)し、HULFT-HUBで管理
- ② HULFT-HUBでファイルの転送管理・転送ログが記録されているため不正の防止につながる

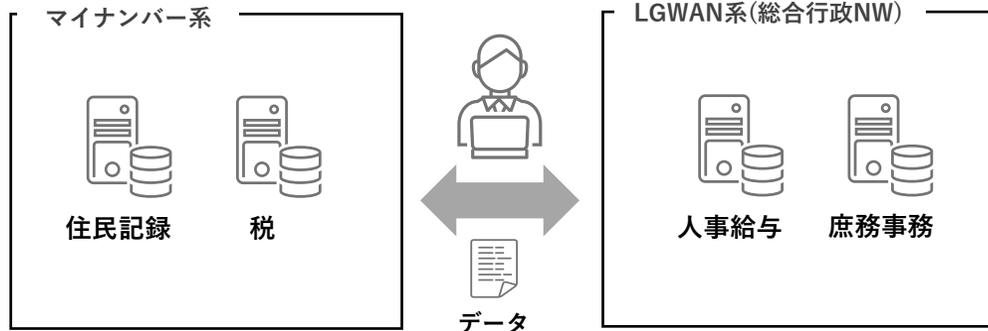
Before

データ移動は手動で承認が必要

職員が手動で受け渡し処理実施（直接連携ができない）

マイナンバー系からLGWAN系へのデータ移動は管理者の承認が必要

ネットワークを分離



After

セキュアな環境下でのデータ移動

HULFTによりデータの受け渡しが自動化

ネットワークのセキュリティが担保されたため承認が不要



The image features decorative patterns of stylized leaves in shades of yellow and orange. These patterns are located in the top-right and bottom-left corners, framing the central text. The leaves are arranged in clusters and some are scattered individually.

# HULFT

**Move knowledge. Move markets.**